

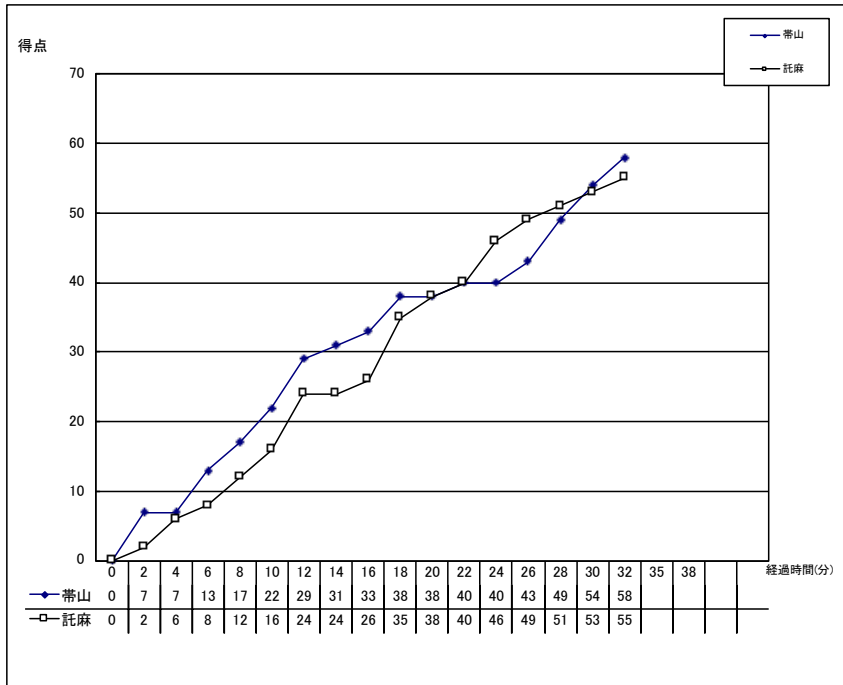
令和4年度 熊本県中体連大会

個人データ表

男子 準決勝	令和4年7月17日 会場: ecowin宇土アリーナ 主審: 豆塚宣男	Bコート 副審: 古閑和也 島本章弘	9:00 開始 第1試合												
☆ 帯山 熊本市	58	<table border="1"> <tr><td>17</td><td>1 Q</td><td>12</td></tr> <tr><td>16</td><td>2 Q</td><td>14</td></tr> <tr><td>7</td><td>3 Q</td><td>20</td></tr> <tr><td>18</td><td>4 Q</td><td>9</td></tr> </table>	17	1 Q	12	16	2 Q	14	7	3 Q	20	18	4 Q	9	55 託麻 熊本市
17	1 Q	12													
16	2 Q	14													
7	3 Q	20													
18	4 Q	9													

帯山												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
4	江角 亮太											
○5	瀬々井 優心	5		2	2	3	1	2	4	4		4
6	中ノ瀬 舜											
7	藤川 蓮											
○8	稲田 碧	2		1	1	3			1	1	2	3
9	秋成 希明											
10	野田 龍之介											
○11	井上 唯翔	18		5	8	12	2	5	3	2		2
○12	後藤 一馬	24	2	9	8	15	2	2	2	2		2
○13	山吉 葵	7	1	4	1	8	2	6	1	2		2
14	古庄 海翔											
15	上田 爽輝											
16	平江 光											
17	ソップ・ハンソン	2			1	3		2		1	2	3
18	ソップ・デビシー											
コーチ	岩本 亮一											
合計		58	3	21	21	44	7	17	11	12	4	16
成功率			14.3%		47.7%		41.2%					

託麻												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○4	遠山 太一	4		3	2	7			2	6	1	7
○5	野田 将吾	4		2	2	5				2	2	4
○6	橋本 唯希	2		3	1	6		2	1	3	3	3
7	濱崎 由弥											
8	澤田 暁	22	2	7	6	11	4	4	5	3	2	5
○9	小崎 舜太郎	12	2	4	2	8	2	5	5	2	2	4
10	本田 隼			1							1	1
○11	杉山 瑠香	9			4	9	1	3	2	2	2	4
12	松本 流樹	2			1	1						
13	増田 真大											
14	牧野 風斗											
15	宮崎 響幸											
16	楠田 然											
17	坂野 悠真											
18	松岡 佑貴											
コーチ	栗崎 貴幸											
合計		55	4	20	18	47	7	14	15	15	13	28
成功率			20.0%		38.3%		50.0%					



<戦評>

1Q: 両チームともハーフマンツーで始まる。託麻は#11のインサイドプレーで攻めを組み立て得点する。一方、帯山は#12のドライブからリズムを作って得点していく。帯山#5のカットイン、速攻からの得点や#17のリバウンドで流れを引き寄せる。託麻は#8を交代で入れ、攻めを立て直していく。17-12帯山5点リードで1Q終了する。

2Q: 帯山#12、託麻#4の3Pの入れ合いで始まる。その後帯山#12、託麻#8を中心に攻めを組み立てていく。託麻#8がリバウンドシュートを決め、25-20帯山5点リードとなったところで、帯山長身の#17を投入しリバウンドを強化する。残り4分27秒、27-20帯山リードの場面で帯山タイムアウト。その後も帯山は#12を中心に攻め、残り3分4秒31-24帯山リードの場面で託麻タイムアウト。お互いディフェンスを頑張り、流れを渡さない。33-26帯山7点リードで前半終了する。

3Q: 託麻#9の2連続3Pと#8の3Pで36-35の1点差に迫る。帯山は#17が冷静にオフェンスリバウンドシュートを決め、38-35と突き放す。ここで、託麻は#8が3Pを決め、38-38同点に追いつく。帯山は#11がフリースローを1本決め、39-38と1点リードするが、直後、残り3分48秒で託麻#9のカットインで逆転する。こちらお互い攻め手を欠き、得点が膠着する。残り2分18秒、帯山#5がフリースローを1本決め、40-40の同点に追いつく。ここで託麻は#8がシュートを決め、再び点リードする。残り2分を切ったところで、託麻#4がディフェンスリバウンド後に負傷退場する。託麻はこれから#8がドライブ、リバウンドシュートと立て続けに4点とり、46-40託麻6点リードで3Qを終了する。

4Q: 託麻#11がオフェンスリバウンドからバスケを決め、フリースローも決め、49-40と託麻が9点リードを広げる。帯山はシュートがなかなか決まらないが、我慢を続け、少しずつ点差を縮める。5分54秒、帯山#12の3Pで49-46の3点差に詰める。残り、5分5秒、託麻#9がファールアウト。4分13秒、ここでオフェンスを引っ張ってきた託麻#8がファールアウト。残り4分4秒、帯山#11ドライブを決め、託麻#11も決め返す。帯山#11がドライブを決め、残り1分44秒、56-53帯山3点リードで託麻タイムアウト。帯山が守りきり、さらに#12がドライブを決め58-53。残り1分6秒、託麻タイムアウト。託麻は#12が決め、残り27秒で帯山タイムアウト。帯山は冷静にボールをキープし、58-55で帯山が勝利し、九州大会出場権を獲得した。

両チーム共に、最後まで勝利を目指してボールを追い回す姿勢に、感動すら覚えた試合だった。

(熊本市立託麻中学校 前田 誠)